

没後 93 年 (SINCE 1923. 9. 16)

全集刊行記念 (2014. 9. 16~2016. 1. 17)

大杉栄メモリアル2016

—映像と言葉で日本の近現代史をふりかえる—

主催：大杉栄の会 後援：新発田市教育委員会 特別協賛：ぱる出版

と き：9月17日(土) 13:00~16:00 (開場 12:30)

と ころ：新発田市生涯学習センター多目的ホール (新発田市中央町5-8-47)

プログラム：映画上映「ベアテの贈りもの」 (92分)

休憩

講演「甦る大杉栄」(仮題) 講師：福島泰樹 (絶叫歌人、僧侶) (60分)

ぱる出版・奥沢邦成代表ご挨拶 (詳細は下部参照)

※上映作品と講師の紹介については裏面をごらんください。

チケット：前売 1,000 円 (当日 1,500 円)

前売券購入方法

①店頭販売：喫茶紫音 (新発田市民文化会館内 電話：0254-22-5726)

②郵便振替：「00540-9-83702 斎藤徹夫 (入金を確認し次第、郵送します)」

交流会：当日 17:30~20:00 頃 新発田駅前・本田屋食堂にて 会費 4,000 円 (当日徴収)

参加を希望される方は、可能な限り事前に下記連絡先へご一報ください。

問合せ先：大杉栄の会 斎藤徹夫 〒957-0058 新発田市西園町1-6-3

携帯：080-9210-7933 (不在時は留守電に) FAX：0254-22-3372

【特報】大杉栄、母校に還る —全集、母校に寄贈へ—

メモリアル前日の16日に、大杉が学んだ旧制新発田中学を前身とする県立新発田高校に『大杉栄全集』が寄贈されることになった。これは、出版社「ぱる出版」のご厚意によるもので、3度目の全集出版にして初の寄贈となる。

【お願い】鎌田慧氏を新発田に再び招くためのカンパを募集します。

2001年のメモリアルに講師として来てくださった鎌田慧さんを、2017年9月に再び新発田にお招きしたいと考えています。鎌田さんは了承済みで、来年9月に講演していただく方向で調整を進めています。

賛同される方は、ぜひカンパのご協力をお願いします。

上映作品紹介 「ベアテの贈りもの」(2004年、藤原智子監督 92分)

ベアテの父レオは、ウクライナ系ユダヤ人で世界的に有名なピアニスト。戦前、山田耕筰らに請われて東京音楽学校で教鞭を取り、戦中も軽井沢で疎開した。

ベアテは一時アメリカに帰国したものの、日本の敗戦後直ちに来日。あるきっかけからGHQに要請され、弱冠23歳で新憲法草案作成に参画した。戦前の日本における女性の地位の低さを知っている立場から、特に男女平等と結婚の自由を定めた第24条と法の下での平等を定めた第14条を中心に取り組んだ。

ちなみにレオは大杉と同じ1885年生まれ。ベアテは大杉の没年と同じ1923年に生まれ、2012年末に死去した。

講師紹介 ふくしまやすき 福島泰樹 (絶叫歌人、僧侶)

1943年、東京・下谷生まれ。早稲田大学文学部卒業を目前にした‘66年1月、「早大闘争」に遭遇して大きな影響を受ける。‘69年、処女歌集『バリケード1966年2月』を発表。翌年の出版記念会で作品を自ら朗読して、短歌が「呼びかけ」「語りかけ」であることを確認。1970年秋、東京を離れ、とある山麓の寺の墓守人となる。’77年6月に故郷へ戻り、本格的に短歌朗読ステージ活動を開始。中原中也、岸上大作、寺山修司、村山槐多ら、様々な人々を取り上げた。

現在に至るまで、歌集、随筆、評論など多数出版。今年1月に出版した最新刊『追憶の風景』では、著者ゆかりの有名・無名108人の死者への回想をつづった。その中には、新潟とゆかりがある宮終二と赤塚不二夫も含まれている。また、2015年には「早大闘争50周年記念CD」を制作。その中に、大杉栄と神近市子も歌われている。(大杉と神近が関係する日影茶屋事件から、今年で100年)

現在は大杉栄全集(全12巻+別巻)の精読に取り組んでいる。